

第4回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会

日時：平成29年2月22日（水）15：30～17：00

場所：栃木市藤岡遊水池 2F大会議室

■WG1 意見要旨

1) 外来種がなぜだめなのか。外来種はどういった影響があるのかを検討

- ・素人でもわかる外来種対策の必要性について

外来種対策をPRする前段として遊水地の豊かな生態系に外来種がどういった影響を与えるのか、そして何のために外来種除去活動が必要なのかを一般の方に伝える必要がある。

2) すぐにできる外来種対策について

- ・看板の設置

ポスターをパネル化し、持ち運べるかたちにすればイベント等で周知活動に使える。設置場所についてはまずは案内板のあるところに設置するのがよいのでは。ただし、魚については釣り場に設置しないと意味がない。河川管理者および漁業組合と協議して設置場所を検討していく。

- ・各市町での外来種対策について

各市町の外来種除去活動も可能であればパンフレットに載せて周知していく。ただし、特定の貴重種の保全を目的とした外来種駆除は少人数で行うものであり、また盗掘の恐れを考慮するとパンフレットでの周知は慎重に行ったほうがよい。

3) パンフレットの作成について

- ・わかりやすいパンフレットの作成について

他地域の外来種周知のパンフレットをベースにして、そこに遊水地に特化した情報を載せていく。パンフレット作成にあたっては、一般の方に周知→参加→保全という流れ（ストーリー性）を作る意識をもって作成にあたるべき。

パンフレットの規格はA4。パンフレットはデータ化しておき、必要に応じて印刷して配布するかたちが（予算が無いなかでの）現実的な作成方法。

・パンフレットに載せる項目について

必須項目…動植物名前・特徴、写真、見られる時期、遊水地への影響、入ってきた経緯

可能ならば載せる項目…原産地、駆除方法（抜く時期）

なお、パンフレットの内容は「見易さ」に重点をおき、文言は簡潔にすることや、スペースによって情報量を調整し、（写真に吹き出しで文言を入れるなど）レイアウトを工夫して作成する。